

エスピーエヌ新聞

2020年秋冬号
Vol.3 (季刊)

発行：(株)エスピーエヌ
文京区音羽1-1-9 2F
☎03-3942-0138

すみません罪を犯してしまいました!!

いつも大変お世話になっております。『エスピーエヌ新聞』の創刊二号発行に当たり、皆様から温かいお言葉をたくさん頂戴いたしました。キチンと続けて発行していくことが大事だよと、アドバイスも頂きました。紙面をお借りして、お礼を申し上げたいと思います。有難うございます。

今回はいきなりビックリする様なタイトルですが、お読みいただければ幸いです。

前社(三和興業印刷株式会社)の倒産の時、当然仕掛っていた仕事がいくつか有りました。前号でも書きましたが印刷は様々な工程を経ましたが、これから写植版下という状態の物は何も出来ませんが、印刷が終わった後は加工だけだったり、加工も終わって後は納品だけと言う仕事も多々残っておりまして。その仕事を発注したお客様も困っているし、製品を仕上げたけど、どうしようも出来ない協力会社さんも困っています。少しでも、協力会社さんにお金が回るように、一件一件お客様に相談に行きまして、前社三和興業印刷での仕掛りの印刷物を直接下請けの会社との取引に変更させて頂け

いかと交渉しました。

もちろんこれは違法行為なので、大手のお客様には断られました。ですが中小の会社様にはこちらの意を汲んで頂き協力して頂ける会社様が数社有りました。我々で納品まで行い、協力会社さんの請求書を発行してもらい代金を回収して協力会社さんに渡しました。その金額には前社のマージンも当然乗っけていますが、協力会社さんは三和興業印刷への回収が出来ない売掛金が多く残っている。マージン分はその分の補填に少しでもなれば良いな、と考えていました。ですが、驚いた事にどの協力会社さんにも「その分はあなた方が受け取りなさい。あなた達だっただけ食べていかなければならないのだから」と言っていて、その分は我々に受け取る様に言ってきました。ビックリしました。中には三和興業印刷への売掛の残りが500万円くらい残っている協力会社さんも有りました。本当は一円でも多く回収したいはずですが、我々の生活を気づかってくれたのです。本当に感謝しか有りません。今、思い出したら、また目がしらが熱くなって来ました。有難うございました。

すみません、これは違法行為なのであまり大っぴらには出来ませんでした。が、あれからもう23年が経ち、時効も過ぎているのでもう無罪です。(多分)

でも、この事があつたお陰でその後、当社を立ち上げた時に、仕事をお願いする協力会社さん達の信頼を得られたと感じています。(本当かな?)

新規事業スタート

前号(Vol.2)で案内させて頂きました、新規事業をスタートさせました。動画の撮影・編集・配信で、まずはサンプル動画としてSPNチャンネルで印刷についてのレクチャー動画、そして様々な業界の企業トップへのインタビュー動画、また、江戸川橋の魅力を発信する動画チャンネルの3チャンネルをYouTubeにアップしました。それに合わせてホームページもリニューアル致しました。

補助金交付決定の報告

創刊号でご案内させて頂きました『小規模事業者持続化補助金』ですが、弊社の申請が採択され9月8日に交付決定を受けました。

これにより最大75万円の費用に対し、50万円の補助金が支給されます。弊社はホームページ改修等の宣伝広告費に対して補助を受けます。

この『小規模事業者持続化補助金』は中小・零細企業または個人商店であれば比較的ハードルが低く受けられそうです。

弊社は今まで、印刷(カタログ・チラシ・ポスター・封筒・名刺・等々)を通してお客様の情報発信のお手伝いをさせて頂いてきました。これからは印刷だけにとられず、動画やウェブを通して、お客様の情報発信のお手伝いをさせて頂きます。動画やウェブでお困りの事や相談したい事などございましたら、お気軽にご連絡ください。一緒に解決して行きます。

こちらは弊社のホームページとYouTube 3チャンネルです。ぜひご覧ください。



文京区の社長・店主インタビュー



SPN ホームページ



江戸川橋の魅力



SPN チャンネル

◆ 補助上限…50万円

◆ 補助率…2/3

◆ 主な要件…

小規模事業者の販路開拓

(製造業20人、卸・小売・サービス業5人以下)

◆ 補助対象経費…

販促費用(チラシ、PR、Web、展示会等)

サービスマン提供等のプロセス改善、IT活用による業務効率化のための費用/等々

皆さんも、私達と一緒に勉強してこの補助金を受けませんか。

文京で20年
看板1枚から
頼める会社



ご近所限定価格で施工します。

徳丸建設有限会社

03-5940-7122

FAX03-5940-7123

文京区音羽1-9-1日本屋ビル5F

http://109chan.com

e-mail: tokumaru1126@nifty.com



Salon de thé Musée
IMADA MINAKO

～優雅な空間でお茶を
お楽しみいただけます～

〒151-8580

東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-24-2

新宿高島屋 4階

サロン・ド・テ・ミュゼ イマダミナコ

☎ 03-5361-2992 (直通)

定休日、営業時間は店舗に直接お問い合わせください。



学校の先生のための
教育情報総合サイト

http://manalabo.allow-web.com/

manalabo

検索

TOKYO PERAL
GINZA



Since1959



東京都中央区銀座 6-16-3

TEL 0120-00-8670

定休日 火曜・年末年始

民音音楽博物館
MIN-ON MUSIC MUSEUM



一般財団法人 民主音楽協会

SPN文芸

今回から不定期ではありますが、お世話になった方々の文化的活動の作品を紹介させて頂きたいと思ひます。たくさんの方に楽しんで頂ければ幸いです。

初回は協同アド企画株式会社の社長を永年に渡って務められた鈴木健司様の俳句と、聖教新聞社にお務めされていた藤井壮介様のコラムです。

冬茜 ふゆあかね 波の彼方に 富士望む

(2019年3月12日 読売新聞掲載)

目に浮かべ 語る気持で 賀状書く

(2020年2月7日 読売新聞掲載)

色褪せど 歴史ありけり 雛飾る

(2020年4月9日 読売新聞掲載)

しなやかに 枝垂れる枝や 涼を呼ぶ

(2020年8月13日 読売新聞掲載)

千葉県松戸市・鈴木健司 88

私の履歴書

齊藤勝好

幼稚園入園

昭和43年4月、渡田にある私立三輪幼稚園に入園。2年保育で最初のクラスは「さくら組」。制服を着て登園する様になると、自分が少しお兄ちゃんになった様に感じ、とても嬉しかった。わんぱくでひょうきん者で、当時の写真を見るとたいがい『しゅー』をしたり、変顔をしてみたりとウケようとしていた。

家に帰れば、兄・妹・両親・祖父母・叔母・工場に住み込みのお兄さん達がいいて、毎日賑やかで笑いが絶



遠足、中央の迷惑なヤツが筆者(5歳)

似顔絵 みんなを笑顔に

4年前から続くがん治療のため、2週間入院した。新型コロナウイルスの影響で家族との面会が制限され、持病とコロナという二つの不安を抱える患者さん達がいる。こういう時だからこそ、明るい笑顔のあいさつを心がけた。

絵を描くことが好きなので、入院中は孫達に笑顔の似顔絵を描いた絵手紙を送ると、家族からスマートフォンで動画が送られてきた。孫達は似顔絵を見てニコニコしながら、4歳の兄が「僕も描くからね」、2歳の弟は「あんとう(ありがとう)」とかわいい声。数日後にきた手紙には孫たちが描いた私の似顔絵が同封され、自然と涙がこぼれた。

同室の患者さんにも元気を取り戻してもらいたいと、笑顔の似顔絵を贈呈した。「笑顔で頑張るよ」と喜んでくれて、似顔絵は人を元気にする力があると実感した。以前に似顔絵を贈ったことのある闘病中の友人たちからも手紙が届いた。「樂觀主義で前進します」など、希望が感じられる言葉に勇気をもたらした。これからも健康を祈りながら笑顔を届けて行きたい。

(2020年5月27日 読売新聞掲載) 東京都中野区・藤井壮介 71

えなかった。その反面、兄弟げんかも絶えなかった。創刊号でも書いたが、兄とのケンカでは力負け、妹とのケンカでは周りの大人に「妹なんだから優しくしなさい」と怒られ、なんとも悔しい思いをしていた。

当時、父親は鋼管継手を作る『有限会社齊藤鋼管』、砂利をダンプカーで運ぶ『双葉興業』そしてバー『ニュー浪花』を経営していた。

子煩悩な両親は休みの日には、あちこちに連れて行ってくれた。遊園地、動物園、水族館、デパート等々。食事の色々と連れて行って貰った。いま思うと本当に感謝している。そして、父のダンプカーの会社の運転手の人にも可愛がられ、よくダンプに乗せてもらってあちこち連れて行ってもらった。たいいはいは兄と一緒で、ダンプの中でよくケンカして怒られたものだった。バー『ニュー浪花』はバーと言っても女の子が沢山いる、今でいうミニクラブの様な

もので、母がオーナーママで、父は雇われマスターという体裁でやっていた。ママに夫がいるとお客さんが来ないので、独身で通していたか、離婚した事にしていたと思う。でも従業員は皆二人が夫婦で実質的に父が経営者だという事は知っていたはずだ。母は結構モテていた様で、ママ目当てのお客様が結構いたらしいし、ラブレターも相当貰っていたようだ。

ある日、父親に連れられ『ニュー浪花』に遊びに行った時(なんと水商売デビューは幼稚園!)、テーブルに女の子の人が2人ついてくれた。その時に父親が「勝好、どうちのお姉さんがキレイ?」だったか「好き?」だったか忘れたが聞いてきたので「子どもだったので正直にキレイだと思ってお姉さんの方に指をさした。そしたら指を差されたお姉さんは大喜びで、そうじゃない方のお姉さんは大変機嫌を損ねて、困ってしまった事を今でも覚えている。なんともしどい親父である(笑)。(続く)

10月17日(土) 川崎市高津市民ホールにて

第21回 ピアノ発表会開催

弊社代表取締役齊藤の妻が主催しているピアノ教室の発表会が開催されました。今回の発表会はコロナ禍での開催だったので、様々な対策に迫られました。今までは、入退場自由でしたが、今回は来られる方にチケットを前もってお渡しし、入場者の名簿を作成してホールに提出するという大変な作業が行われました。そして、ホール入り口に受付を設置し、検温・手指消毒・名簿チェックをしてからの入場となりました。(今までは受付は無し) 発表会参加者も例年は40名を超える方にご参加頂いておりましたが、今回はコロナで参加をしたくないという方もいて、33名の参加でした。例年は全ての演奏終了後に参加者全員で記念撮影をしていましたが、今回は密を避けるために、それは廃止致しました。

それでも、参加者の皆さんには素晴らしい演奏を披露して頂き、大変に実りのある発表会となりました。年々、腕を上げていく生徒さんの姿を見てみると、頼もしくなってきました。次回は普通に出て来ると嬉しいですね。



齊藤の演奏が見られます



編集後記

今年はコロナに振り回された一年になりました。皆さんも多かれ少なかれ、そうだったのではないかと、お察し致します。

ですが、悪いことばかりでもありません。「カンブリア宮殿」でE.I.S.の澤田社長が言っていました「ピンチの時はチャンスだ。なぜなら、順調なときは変化に迫られないがピンチの時は新たなこと

にチャレンジが出来る」と。本当にそうだと思います。弊社も自粛期間中は経済活動の低迷により仕事が暇だったので、新規事業の立ち上げに力を入れられました。それ以外でも、新しいセミナーに参加したり、知見を広げるのには良い時間を持つことが出来ました。

数年後に「コロナのお陰で、皆が飛躍出来たね」なんて言えれば、良いですね。